



Title	表紙、目次、2012年度 英米文学英語学専修 卒業論文 題目一覧、執筆者紹介、投稿規定、奥付
Author(s)	
Citation	英米文学英語学論集 , 2
Issue Date	2013-03-19
URL	http://hdl.handle.net/10112/7586
Rights	
Type	Others
Textversion	publisher

ISSN 2187-2589

英米文學英語學論集

第2号 March 2013

関西大学英米文学英語学会

ISSN 2187-2589

英米文学英語学論集

第2号 March 2013

関西大学英米文学英語学会

目 次

[研究論文]

Juicy Peach と *Honey Brown* をひとつずつ

— 〈女は食べ物〉メタファー再考—

上谷明日香・鍋島弘治朗 …………… 1

[優秀卒業論文]

2012 年度 …………… 27

2012 年度 英米文学英語学専修 卒業論文題目一覧

- 文 05 - 721 藤 沢 肖 奈 トマス・ハーディ『テス』を読んで—何がテスを死においやったのか—
- 文 07 - 886 松 浦 啓 太 「動物農場」における革命
- 文 08 - 4 青 木 愛 翔 *Remember the Titans* と *Coach Carter* に見るアメリカの社会問題
- 文 08 - 19 秋 山 裕 二 ジェスチャーの変異
- 文 08 - 196 岡 崎 麻 子 「赤毛のアン」論—様々な角度から読み取るアンの成長—
- 文 08 - 308 岸 貴 之 英語の多読教育
- 文 08 - 402 酒 井 麻 衣 バイリンガルの文化間移動における教育とアイデンティティの変化
- 文 08 - 451 繁 岡 祐 貴 善と悪—「ジーキル博士とハイド氏」試験—
- 文 08 - 943 三 輪 紗也加 Are traditional values still alive today? — Comparison of Western and Eastern values
- 文 09 - 2 青 野 はるか 「アメリカ英語・イギリス英語—発音の違いからくる印象」
- 文 09 - 7 浅 田 梨 沙 「ピーター・パン」論—フロイト精神分析批評を中心に—
- 文 09 - 12 東 大 輔 リュック・ベッソンの「レオン」について—愛情の欠落と補完—
- 文 09 - 14 安 達 美 佳 現在の英語教育の問題点と英語教育の将来～日本人の英語力と日本人大学生の意識調査から考える～
- 文 09 - 18 安 部 裕 絵 「シンデレラ」論—作品から読み取れるジェンダー—
- 文 09 - 25 飯 石 早 紀 どうして小学校から英語?～日・中・韓の比較から、小学校英語必修化を考える～
- 文 09 - 44 有 江 望 “What should we do for the effective class of English education at high school? —compare to the American immersion program—
- 文 09 - 58 出 野 康 太 Diana Wynne Jones の持つ世界観—*Howl's Moving Castle* を題材に—
- 文 09 - 65 伊 藤 雄 策 *Almost Famous* における幻想と現実—ウィリアムがロックから得たもの—
- 文 09 - 68 稲 木 彩 華 日米コミュニケーションスタイルの違い—文化が日本人のイメージに与えた影響—
- 文 09 - 77 今 井 貴 恵 「黒衣」の Jane と「白衣」の Bertha—衣服から読み解く [*Jane Eyre*]—
- 文 09 - 97 上 田 英 恵 「英語と日本語の出会い&和製英語」
- 文 09 - 115 梅 本 麻 伊 英字新聞の特徴と各新聞社の比較
- 文 09 - 121 榎 本 紗也加 「ハリー・ポッター」における愛の重要性
- 文 09 - 125 大 石 彩 加 「赤毛のアン」から読み解くアンの成長～アンと二人の育ての親～
- 文 09 - 152 大 橋 愛 香 「生きる力」を育む日本の英語教育の未来
- 文 09 - 156 大 場 愛 子 イギリスにおける階級区別—地域性、歴史から社会の構造に迫る—
- 文 09 - 173 岡 田 遼 「グリーン・マイル」と「スタンド・バイ・ミー」の死に対する考え方
- 文 09 - 178 岡 本 裕 貴 日本における英語教育実践
- 文 09 - 184 奥 野 航 「受験英語」考察論
- 文 09 - 185 奥 野 千 尋 日英対象語彙研究—語彙から文化を考える—
- 文 09 - 194 越 智 俊 介 フィンランドと日本の英語教育の比較
- 文 09 - 198 尾 原 一 生 「ブラダを着た悪魔」におけるアンドレアの成長
- 文 09 - 207 角 矢 愛 エイハブの運命について
- 文 09 - 213 梶 秀太郎 Artificial Intelligence が表現するもの—永遠の愛とはかけ離れた “Dump” 映画—
- 文 09 - 231 角 田 知 園 「日本語と英語における丁寧表現の比較～ポライトネスの概念から～」
- 文 09 - 234 金 澤 隆 幸 Ernest Hemingway: *The Old Man and the Sea* —サンチャゴからみる人間の高貴さと尊厳
- 文 09 - 238 金 網 愛 嵐が丘 *Wuthering Heights* Catherine と Heathcliff が描く愛と憎しみ

- 文09 - 246 上谷 姫 倭 Parents and children in America and Japan～An exploration of the origins of differences～
- 文09 - 253 川上 統 子 *Harry Potter*における善と悪～愛の不在の重要性～
- 文09 - 261 川村 泰 佑 日本語と英語におけるジョークの違い—ユーモアの観点から—
- 文09 - 277 北井 杏 奈 Elizabeth と Darcy における印象の変化
- 文09 - 281 北嶋 佑 梨 *Wuthering Heights* における第一世代物語と第二世代物語
- 文09 - 287 木下 愛 望 日本と欧米における色彩言語の違い—生理的、心理的な色彩認知—
- 文09 - 288 木下 梨 加 美とは何か *The Picture of Dorian Gray* を中心にして
- 文09 - 291 木船 巴 愛 Tim Burton の映画から読み取れる様々な表象
- 文09 - 296 木村 結 乃 女の話し方におけるステレオタイプと言語使用の関係性
- 文09 - 299 客本 料 字幕から見る日英語比較—自国語の重要性—
- 文09 - 317 熊麻 美 子 規範としての女ことば—作られた女ことば—
- 文09 - 318 久米 香 織 相補的な姉弟関係を描いた作品に共通する構造——通過儀礼の観点から——
- 文09 - 321 倉橋 美 波 敬意表現の日英語比較—異なる人間関係間での依頼表現—
- 文09 - 323 倉本 まゆみ イギリスの国語教育と日本の国語教育—小学校教育と国民性—
- 文09 - 328 黒木 麗 「スターウォーズ」物語構造論
- 文09 - 335 河内 友 佳 文章表記における符号の日英比較
- 文09 - 359 後藤 真 里 ポー短編小説論—「告げ口心臓」「黒猫」研究—
- 文09 - 361 三枝 篤 季 William Golding, *Lord of the Flies* におけるリーダー像——民主主義的統治とカリスマ的支配——
- 文09 - 366 榊原 啓 太 Communication Style in a Business Meeting America versus Japan
- 文09 - 375 坂本 佑 馬 日本の教育現場に求められる教員像—チップスという教員の魅力
- 文09 - 380 崎山 真 実 「赤ちゃんはトップレディがお好き」に見る女性像—現代のアメリカ女性における内面的特性—
- 文09 - 387 佐々木 麻 衣 高等学校における英語教育の理想と現実
- 文09 - 394 佐藤 文 香 日本の英語教育の現状—韓国の英語教育との比較
- 文09 - 399 佐藤 宏 美 マンスフィールド短編小説論——子供を中心に——
- 文09 - 403 佐渡 梨 葉 *Memento* と *Shutter Island* について——映画から見る真実の記憶と虚偽の記憶——
- 文09 - 417 澁谷 悠 太 Comparing slang and wakamonogo
- 文09 - 423 島田 祥 希 ルイス・キャロルの言葉遊び—「不思議の国のアリス」を通して—
- 文09 - 425 清水 香 葉 英語授業実践 Pairwork? Groupwork? ～より良い授業形態とは?～
- 文09 - 437 東海林 美 咲 「ドリアン・グレイの肖像画」に見られる哲学・思想
- 文09 - 454 助野 早 紀 「ハリーポッターと賢者の石論」—英国社会との関連性を中心に—
- 文09 - 465 関 麻 奈 *The Secret Garden* —メアリを成長させたもの—
- 文09 - 467 説 葉 里 マザーグース
- 文09 - 481 高橋 かおり カオナシからみる「千と千尋の神隠し」—メッセージを読み解く—
- 文09 - 492 武島 秀 竜 バンク／ハードコアの歴史と影響
- 文09 - 496 竹原 里 奈 異文化における恋愛観の違いと国際恋愛
- 文09 - 522 谷岡 里 柴 「赤毛のアン」に隠された背景と作者の意図
- 文09 - 525 谷本 昂 平 デイズニerlandの商業戦略—優秀なキャストを育てる独自の人材教育—
- 文09 - 531 田村 理 恵 笑いが生じる条件—ズレと優越の優位性—
- 文09 - 539 月岡 永 遠 「日本人が Native English Speaker になるための学習法」
- 文09 - 540 辻 味 安 現代のプリンセス・ストーリーにおける女性の生き方—「奥様は魔女」「魔法にかけられて」「エバー・アフター」に見るキャリアと結婚—

- 文 09 - 541 辻 未野梨 字幕に見る日英語比較
- 文 09 - 558 寺 田 有 紗 「日本の小学校英語教育に必要なこと—日本と韓国の比較から」
- 文 09 - 565 東 川 公 洋 スパイク・リーの描いた黒人社会—日本の私たちが考えるべきこと—
- 文 09 - 579 土 井 亜紀子 日韓の英語教科書における語彙の質的・量的比較
- 文 09 - 595 中 川 真奈美 五カ国の首都ホームページ比較
- 文 09 - 608 中 谷 侑 希 F. H. バーネット『秘密の花園』論—子供たちの成長と花園の持つ力—
- 文 09 - 615 中 村 亜 紗 サム・クックの曲の言語的特徴について
- 文 09 - 616 中 村 彩 香 日米コミュニケーション比較から見る「甘え」
- 文 09 - 642 新 見 紗 代 『ピーター・パン』から読み解く子供の成長—永遠の子供が誕生した理由—
- 文 09 - 648 西 尾 祐紀子 日英語比較—日本語の曖昧な表現と英語—
- 文 09 - 652 西 川 和 英語教育における小中連携の実際
- 文 09 - 663 西 村 恭 『Hamlet』論—ハムレットの本能と超自我に関する現代的分析—
- 文 09 - 677 野 谷 享 平 映画スパイダーマンのメタファー—背景と構造—
- 文 09 - 679 野 田 夕 貴 男性のメタファー—女性のメタファーから男性のメタファーを考える—
- 文 09 - 688 長谷井 理 絵 Charles Dickens, *Oliver Twist* 論—作品に見られる「善」と「悪」—
- 文 09 - 692 長谷川 竜 嗣 映画で見る黒人英語 (AAVE) の文法的特徴
- 文 09 - 697 羽 場 優 子 Differences in Value Systems and Differences in Grammar
- 文 09 - 700 濱 谷 愛 李 「子供の視点から見る昨今の英語教育と教師—子供の視点から見た理想の形—」
- 文 09 - 719 原 山 彩 雅 「ことばと思考」について
- 文 09 - 751 廣 畑 翔 Heathcliff の謎を解く—「嵐が丘」考
- 文 09 - 754 福 井 愛 理 短編小説試論—視点の効果を中心に—
- 文 09 - 759 福 多 晴 子 アメリカ人の美意識—肥満は健康であり美しい—
- 文 09 - 770 藤 川 修 平 キャサリン・マンスフィールドの人生における「孤独」と「間」—そして「生きる」ということ
- 文 09 - 772 早 見 大 介 Implications of Korean English education for Japan
- 文 09 - 777 藤 原 謙 太 Sam Raimi, *Spider-Man* が映し出す苦悩—仮面と素顔、親子関係—
- 文 09 - 781 藤 本 善太郎 ミュリエル・スパーク『メントモリ』における死生観
- 文 09 - 793 佛 岡 優 駿 「ハックの精神的成長」
- 文 09 - 800 堀 内 隼 太 ファストファッションが席卷するアパレルファッション業界の実態—“強い”ファストファッションと“日本らしい”セレクトブランドと苦しむハイブランド—
- 文 09 - 803 堀 川 大 輔 魂の行き先
- 文 09 - 819 柏 井 良 輔 語源に基づく英単語記憶法—形態論を利用した研究—
- 文 09 - 830 松 田 大 樹 会話における男女の性差
- 文 09 - 832 松 田 風 花 「ハックルベリー・フィン」における登場人物の心理描写—ハックの成長と友に—
- 文 09 - 864 丸 山 明 ジョージ・オーウェル研究—「1984年」に投影されたオーウェルの人生—
- 文 09 - 870 三 品 まどか ディズニー映画『塔の上のラプンツェル』(Tangled) とグリム童話
- 文 09 - 890 宮 川 遥 『ミセス・ダウト』について—逆立ちした母性とロール・プレイング—
- 文 09 - 907 六 車 彩都子 『ハウルの動く城』論—「おとぎ話」との関連性—
- 文 09 - 910 村 上 あさ美 ヘレン・フィールディングの『ブリジット・ジョーンズの日記』について—ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』との比較—
- 文 09 - 942 森 本 美 香 広告の比喩表現—食品広告にみる比喩表現の広告利用について—
- 文 09 - 950 矢 藤 咲 季 英語ジョーク—4つの手法によるおもしろさの違い—
- 文 09 - 955 山 内 勇 樹 『エルブランドの王女』に描かれたイングランドとアイルランド—両国の存亡・未来に対する警鐘—

- 文 09 - 961 山 口 麻 衣 find him attractive 構文—非叙実性から捉える—
- 文 09 - 967 山 崎 千 裕 帰国子女の英語能力の変化とアイデンティティについて
- 文 09 - 983 山 田 莉 衣 マンスフィールド短編小説試論
- 文 09 - 988 山 中 麻 衣 褒め言葉の日英語比較
- 文 09 - 994 山 本 佳 奈 エドガー・アラン・ポー短編論—構造分析を中心に—
- 文 09 - 999 山 本 穂 波 ディザスター・ムービーに見られる人間性—極限状況における人間本来の性質とは—
- 文 09 -1017 横 山 知 世 ヘミングウェイ短編論
- 文 09 -1024 吉 木 謙次郎 『嵐が丘』論 Heathcliff と Catherine に見る Emily Brontë の深層
- 文 09 -1025 吉 崎 真里子 英語の役割語について—文学作品中の役割語—
- 文 09 -1033 吉 田 由 依 ディズニーが社会に与えた影響
- 文 09 -1039 吉 村 恵 美 シェイクスピアの悲劇
- 文 09 -1042 米 坂 和 高 Barry Yourgrau 短編小説試論
- 文 09 -1056 和 田 歩 構文文法の解析—no sooner than を例に—
- 文 09 -1057 和 藤 沙 織 Alice のうけた影響—「不思議の国」の世界観—
- 文 11 -3003 木 本 康 代 『姫の王』論—萬話と名前の意味仕掛け—
- 文 11 -3009 増 井 伸 行 『ディケンズ』と貧困

執筆者紹介

上 谷 明日香 (本学卒業生)

鍋 島 弘治朗 (本学教授)

査読編集委員会

石 坂 恒 (本学教授)

高 橋 美 帆 (本学准教授)

* 鍋 島 弘治朗 (本学教授)

野 口 メアリー (本学教授)

干 井 洋 一 (本学教授)

外 部 査 読 者(匿名)

* 編集代表

関西大学英米文学英語学会・関西大学英語学会・関西大学大学院英語英文学研究会 共催 研究大会が2012年9月26日(土)12時30分より関西大学第1学舎1号館 A601・A602にて次のように行われました。詳細は以下のとおりです。

[レクチャー] 教職の現場から 田井香織¹

[卒論構想発表会]

A601

角矢 愛 (入子ゼミ) 白鯨における「運命」について 司会 秋元秀紀

榊原 啓太 (アンダーソンゼミ) Misunderstanding In a Business Meeting 司会 鍋島弘治朗

木船 巴愛 (秋元ゼミ) ティム・バートン監督の映画について 司会 高橋美帆

和田 歩 (鍋島ゼミ) 構文文法の解析—no sooner than を例に— 司会 フレッド・アンダーソン

A602

土井亜紀子 (石坂ゼミ) 日韓の英語教科書における語彙の質的・量的比較 司会 野口メアリー

山内 勇樹 (干井ゼミ) 『エルフランドの王女』試験 司会 谷口義朗

山中 麻衣 (野口ゼミ) 褒め言葉：日英語比較 司会 坂本武

[研究発表]

A601 英語学 司会 野口メアリー

藤本 雄馬 (M2) World Englishes: The Intelligibility of Japanese English

中野阿佐子 (M2) What is FEAR?: Analysis based on Cognitive Metaphor Theory and Physiological Research

久保 圭 (京都大学 D3) Pseudo-science は Science か? : 接辞にみる「似て非なる」の多様性

A602 英米文学 司会 干井洋一

植村 真未 (M2) 『ムーン・パレス』とメランコリー

上村 周平 (M2) 『ナルニア国物語』—誘惑の場面における聖書との比較—

堀内 健裕 (D3) ホーソーンが描く “damsel”

[レクチャー] TOEIC® テストの概要と社会における活用状況 講師 浅井周平²

[講演] 「姓と名の英語固有名論」 講師 織田稔³

¹ 本学 07 年卒業生、リクルート㈱を経て現在、大阪の私立高校勤務

² 一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会 大阪事業所

³ 元関西大学教授 『英語冠詞の世界』『英文法学習の基礎』など著書多数。当講演では、姓と名の順序はどうして日英で異なるのか、名に the が付くのはどんなときかなど、固有名詞の文法と意味を探る。

「英米文学英語学論集」投稿規定

1 執筆資格

本会の会員であること。その他、評議員会で適当と認められた者。

2 投稿論文及び翻訳

投稿論文は、未発表の学術論文であること。口頭発表を基にした論文は、その旨を明記すること。論文の長さは、和文の場合四〇〇〇字詰め原稿用紙三五枚程度、英文の場合七〇〇語程度。なお、投稿原稿は返却しない。翻訳は本邦初訳であり、かつ著作権上の問題が発生せず、研究上の意義が認められるものに限る。

3 大学院生会員による投稿

英文専攻の院生会員による投稿原稿の採否は、編集委員会あるいは同委員会が委嘱する「査読者」の評価に基づいて、編集委員会が決定する。

4 書式上の注意

- i 注は本文の末尾にまとめる。
- ii 注のナンバーは肩付き、数字はアラビア数字（かつこなどで枠付けしない）を用いる。
- iii 和文による論文の場合、英語の引用文には原則として和訳を付す。
- iv 和文による論文の場合、外国の人名、地名、書名などは、初出の箇所で原名を入れる。
- v その他、書式の細部については次のいずれかの規定に従うこと。
 - ① *MLA Handbook for Writers of Research Papers* (Fifth Edition)
 - ② *MLA 英語論文の手引* (第5版) (北星堂)
 - ③ 日本英語学会機関誌 *English Linguistics* 投稿規定
 - ④ *The Chicago Manual of Style* (Fifteenth Edition)
 - ⑤ *A Manual for Writers of Term Papers, Theses, and Dissertations*
- vi 日本語による論文には英文タイトルを付すこと。

5 原稿締め切り

原稿の締め切りを原則として毎年12月末とし、翌年3月末までに刊行するものとする。

関西大学英米文学英語学会会則*

第一条 本会は関西大学英米文学英語学会と称しその事務局を関西大学文学部総合

人文学部英米文学英語学専修合同研究室に置く。

第二条 本会は英語学・英米文学の研究の促進と研究成果発表を目的とする。

第三条 本会は第二条の目的を達成するために次の事業を行なう。

一、機関誌「英米文学英語学論集」の刊行。

二、その他、大会、総会、談話会、講演会など、本会が必要と認めたこと。

第四条 本会は次の者をもって会員とする。

一、本学文学部総合人文学部英米文学英語学専修の専任教員。

二、本学文学部総合人文学部英米文学英語学専修及び同大学院文学研究科

英文学専修の学生。

三、右の卒業生及び修了生であつて本会に入会を認められた者。

四、本学文学部英文学科(旧)の在職経験者中の入会希望者。

五、本学の名誉教授その他評議員が推薦した者で入会を希望する者。

第五条 本会に次の役員をおく。

一、会長 会長(一名)は評議員の互選によりこれを選出する。

二、評議員 第四条第一項の会員が評議員の責務を負うものとする。

三、委員 委員若干名は評議委員会で決定する。委員は編集・会計・

会計監査及び広報を分担する。

役員の任期は二年とし、再任を妨げない。

第六条 会員は会費年額三千元を納入する。但し、第四条第一項に該当する者は年

会費一万円を納入する。

第八条

会員は機関誌の配布を受けるとともに、これに執筆寄稿することができ、

第四条第三、四、五項に該当する者で、執筆寄稿した者は一万円を納入し

なければならぬ。

この会則の変更は評議員の議決による。

第九条

(会則改正 二〇〇八年七月十六日)
*新会則の制定まで関西大学英米文学学会会則を流用する。

英米文学英語学論集 第2号

2013年3月19日発行

編集兼 関西大学英米文学英語学会
発行人

印刷所 石田大成社
〒604-0087 京都市中京区丸太町通小川西入

発行所 関西大学英米文学英語学会
〒564-8680 吹田市山手町 3-3-35

〔非売品〕

ISSN 2187-2589

KANSAI UNIVERSITY STUDIES IN ENGLISH
LINGUISTICS AND LITERATURE

No. 2

March 2013

Contents

[Article]

Give me a *Juicy Peach* and a *Honey Brown*:
WOMEN ARE FOODS metaphor revisited.

.....Asuka Uetani and KJ Nabeshima(1)

[Distinguished graduate theses]

SOCIETY FOR THE STUDY OF ENGLISH LINGUISTICS AND
LITERATURE, KANSAI UNIVERSITY